

食品安全委員会の12月の運営について

1. 食品安全委員会の開催

第358回 12月2日（木）

(1) 食品健康影響評価の要請

- ・以下の案件についてリスク管理機関から説明

遺伝子組換え食品等(4品目)	①除草剤グルホシネート耐性及び雄性不稔セイヨウナタネMS8と除草剤グルホシネート耐性及び稔性回復性セイヨウナタネRF3と除草剤グリホサート耐性セイヨウナタネRT73からなる組合せのすべての掛け合わせ品種(既に安全性審査を経た旨の公表を行った1品種は除く。) ②チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ1507系統とコウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシB.t. Cry34/35Ab1 EventDAS-59122-7系統とチョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON810系統と除草剤グリホサート耐性トウモロコシNK603系統からなる組合せのすべての掛け合わせ品種(既に安全性審査を経た旨の公表を行った5品種は除く。) ③LEU-No. 2株を利用して生産されたL-ロイシン ④E. coli組換え体利用による飼料添加物塩酸L-リジン
----------------	--

(2) 各専門調査会における審議結果についての報告

- ・各専門調査会から報告された以下の案件について国民からの意見・情報の募集に着手することを決定

添加物専門調査会(1品目)	イソキノリン
---------------	--------

(3) 食品安全関係情報（11月6日～11月19日収集分）について事務局から報告

第359回 12月9日（木）

(1) 食品健康影響評価の要請

- ・以下の案件についてリスク管理機関から説明

添加物(1品目)	2-エチル-6-メチルピラジン
----------	-----------------

(2) 各専門調査会における審議結果についての報告

- ・各専門調査会から報告された以下の案件について国民からの意見・情報の募集に着手することを決定

肥料・飼料等専門調査会(1品目)	セデカマイシン
------------------	---------

(3) 食品健康影響評価

- ・以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

遺伝子組換え食品等(1品目)	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシBt11系統とコウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシB.t. Cry34/35Ab1 Event DAS-59122-7系統とコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMIR604系統とチョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ1507系統と除草剤グリホサート耐性トウモロコシGA21系統からなる組合せのすべての掛け合わせ品種(既に安全性評価が終了した8品種は除く。)
----------------	---

- (4) 食品安全モニター課題報告「食品の安全性に関する意識等について」（平成22年8月実施）の結果について事務局から報告
- (5) 食品安全委員会の11月の運営について事務局から報告

第360回 12月16日（木）

- (1) カナダにおける食肉処理施設の現地査察結果について、厚生労働省及び農林水産省から報告
- (2) 食品健康影響評価の要請
- ・以下の案件についてリスク管理機関から説明

農薬(4品目)	ミクロブタニル、メタゾスルフロン、アルドリン及びディルドリン、キザロホップエチル
農薬及び動物用医薬品(5品目)	フルバリネート、クロルフェンビンホス、ジフルベンズロン、チアベンダゾール、メトプレン
かび毒(2件)	アフラトキシンM1、アフラトキシンB1(飼料中)
遺伝子組換え食品等(2品目)	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシBt11系統とチョウ目害虫抵抗性トウモロコシMIR162系統と除草剤グリホサート耐性トウモロコシGA21系統からなる組合せの全ての掛け合わせ品種(スイートコーン)、HxR-No. 1株を利用して生産された5'-イノシン酸二ナトリウム
肥料(3品目)	「熔成汚泥灰けい酸りん肥」の公定規格の設定、「熔成けい酸りん肥」の公定規格の変更、「化成肥料」の公定規格の変更

- (3) 各専門調査会における審議結果についての報告
- ・各専門調査会から報告された以下の案件について国民からの意見・情報の募集に着手することを決定

農薬専門調査会(1品目)	トリアゾホス
新開発食品専門調査会(2品目)	ポリフェノール茶、リプレS
肥料・飼料等専門調査会(1品目)	セファロニウム

- (4) 調査・研究企画調整会議の設置等について
- ・小泉委員長から提案後、事務局から説明
 - ・「調査・研究企画調整会議の設置等について」を案のとおり決定
- (5) 食品の安全性の確保のための調査研究の推進の方向性について
- ・研究運営委員会座長の廣瀬委員及び事務局から説明
 - ・「食品の安全性の確保のための調査研究の推進の方向性について」を案のとおり決定
- (6) 食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の案件の点検・検討に係るファクトシートの更新について事務局から報告
- (7) 食品安全関係情報（11月20日～12月3日収集分）について事務局から報告
- (8) 「企業申請品目に係る食品健康影響評価についての標準処理期間の達成状況」について事務局から報告

2. 高濃度にジアシルグリセロールを含む食品に関するワーキンググループ

第3回 12月27日（月）

- ・高濃度にジアシルグリセロールを含む食品の安全性について、関連文献及び「高濃度にジアシルグリセロールを含む食品の安全性：当該食品に含まれるグリシドール及びその脂肪酸エステル類」に関する評価書（案）について審議を行った

3. 専門調査会の運営

（1）企画専門調査会

第36回 12月16日（木）

＜食品安全委員会が自ら食品健康影響評価を行う案件の検討・選定について＞

- ・前回の企画専門調査会で『『自ら評価』の対象とすることのフィージビリティを、更に詳細に検討して整理すべきもの』として整理された案件について、「引き続き自ら評価案件候補にするか否かの検討を行うもの」、「情報収集を行うもの」、「国民に対する情報提供を行うもの」に分類を行った
- ・また、今回「引き続き自ら評価案件候補にするか否かの検討を行うもの」として整理された案件以外の案件に係る情報提供の具体的手法については、リスクコミュニケーション専門調査会で審議することとなった

＜平成22年度食品安全委員会運営計画の実施状況の中間報告について＞

- ・事務局から説明

（2）添加物専門調査会

第91回 12月21日（火）

- ・「*trans*-2-ペンテナール」について調査審議し、継続審議となった
- ・「2-エチル-6-メチルピラジン」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することを決定
- ・今井田座長より、座長代理に梅村専門委員が指名された

（3）農薬専門調査会

第4回 評価第四部会 12月6日（月）※非公開

- ・「3-ジクロロプロペン」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上、幹事会に報告することを決定

第5回 評価第三部会 12月14日（火）※非公開

- ・「ピリダベン」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上、幹事会に報告することを決定

第69回 幹事会 12月15日（水）

- ・「トルフェンピラド」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することを決定
- ・「エトフメセート」について検討の結果、評価第四部会において調査審議することとなった
- ・「テブフロキン」について検討の結果、評価第二部会において調査審議することとなった
- ・「ピリメタニル」について検討の結果、添加物専門調査会の専門委員のうち適当な者に対し出席を求めた上で、幹事会において調査審議することとなった

- ・「平成21年度農薬等のポジティブリスト制度における対象外物質の食品健康影響評価に関する情報収集調査」について、調査実施者より報告された後、質疑応答を行った
- ・「食品健康影響評価における暴露評価対象物質に考え方～当面の方針～」について専門委員より報告が行われた
- ・農薬専門調査会幹事会第68回会合で審議されたフルオピコリドの食品健康影響評価について、専門委員の提案により審議が行われ、代謝物M1（2,6-ジクロロベンズアミド）のADIを0.045mg/kg体重/日に変更することとされ、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった
- ・評価部会から幹事会に検討を依頼された案件について審議が行われた

第4回 評価第一部会 12月22日（水）※非公開

- ・「グリホサート⑤」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上で、幹事会への報告については、グリホサートに関する評価が全て終了した後、行うこととなった

（4）動物用医薬品専門調査会

第129回 12月20日（月）

- ・「酢酸メレンゲステロール」について調査審議し、継続審議となった
- ・動物用医薬品に関連する情報として、専門委員から「第1回VICH・安全性専門家作業部会（急性参照用量）」の出張報告があった

（5）化学物質・汚染物質専門調査会

第9回 清涼飲料水部会 12月16日（木）

- ・「ホウ素」及び「ウラン」について調査審議し、継続審議となった
- ・「ニッケル」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上、当該案の了承が得られ次第、幹事会に報告することとなった
- ・「硝酸性窒素・亜硝酸性窒素」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上、幹事会に報告することを決定

（6）プリオン専門調査会

第65回 12月24日（金）

- ・専門委員改選に伴い専門委員の紹介、専門調査会の運営等について説明及び座長の選出＜食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価（我が国に輸入される牛肉および牛内臓に係る食品健康影響評価）＞
- ・各国政府に送付した質問書に対する回答及び資料整備の進捗状況について事務局から説明が行われた
- ・ホンジュラス及びニュージーランドの評価書（案）たたき台について審議を行い、ニュージーランドについては、すでに調査会でのとりまとめが終了しているバヌアツ及びアルゼンチンと共に食品安全委員会へ報告することとされた
- ・ノルウェーの評価書（案）たたき台について、事務局から説明が行われた

（7）遺伝子組換え食品等専門調査会

第87回 12月13日（月）※非公開

- ・「除草剤グルホシネート耐性及び雄性不稔セイヨウナタネMS8と除草剤グルホシネート耐性及び稔性回復性セイヨウナタネRF3と除草剤グリホサート耐性セイヨウナタネRT73からなる組合せのすべての掛け合わせ品種（既に安全性評価が終了した1品種

を除く。）」、「チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ1507系統とコウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシB. t. Cry34/35Ab1 Event DAS-59122-7とチョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON810系統と除草剤グリホサート耐性トウモロコシNK603系統からなる組合せのすべての掛け合わせ品種（既に安全性評価が終了した5品種を除く。）」及び「LEU-No. 2株を利用して生産されたL-ロイシン」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することを決定

- ・「LYS-No. 1F株を利用して生産された塩酸L-リジン」について調査審議し、継続審議となった

4. 意見交換会等の開催

食品のリスクを考えるワークショップ（京都府）～ノロウイルス食中毒の特徴と対策～

12月3日（金）＜京都府京都市＞

- ・厚生労働省、京都府との共催により開催
- ・国立感染症研究所ウイルス第二部第1室長の片山氏から、ノロウイルスの特徴やその食中毒の予防等について情報提供を行った後、参加者が小グループに分かれてのグループワーク、参加者全体での意見交換を実施

食品のリスクを考えるワークショップ（青森県）～安全な食品ってなんだろう？～

12月15日（水）＜青森県八戸市＞

- ・青森県との共催により開催
- ・ゲーミングシミュレーション「クロスロード『食の安全編』」をグループに分かれて実施後、ゲームの内容をふりかえるグループワークを実施
- ・食品安全委員会事務局及び青森県から食品リスクの考え方等について情報提供を行った後、グループワークで出た質問や意見を基に、参加者全体での意見交換を実施